

漁海況情報

平成 26 年 12 月 11 日 第 19 号 (通巻 556 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

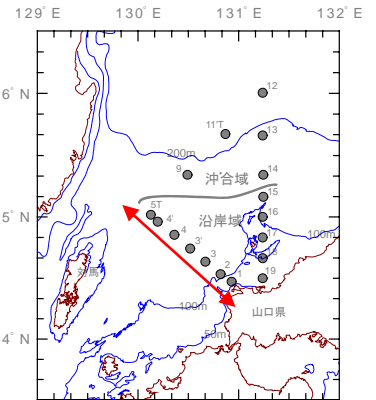
TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【くろしおによる海洋観測】

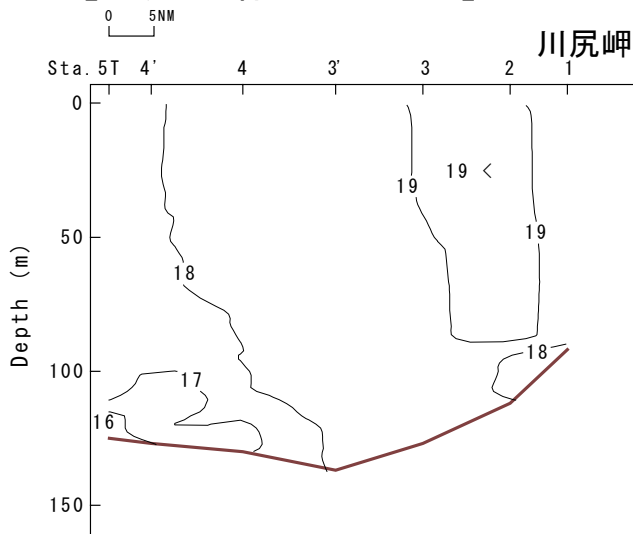
12 月 10 日～11 日に漁業調査船「くろしお」で海洋観測を実施しました。

時化のために、川尻北西方の測点 (Sta. 1～5T; 7 点、図中の矢印) のみの観測になりました。そのため、川尻北西方の観測線 (川尻 NW 線) における水温断面で水温の評価を行いました。なお、平年とは 30 年間 (1981～2010 年) の平均値のことです。



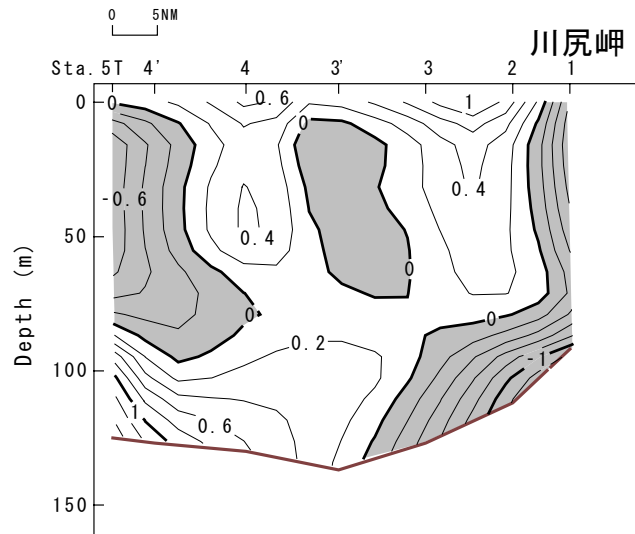
海洋観測点

【川尻 NW 線水温断面図】



2014/12 川尻NW線 水温

【川尻 NW 線水温偏差断面図】



2014/12 川尻NW線 水温偏差

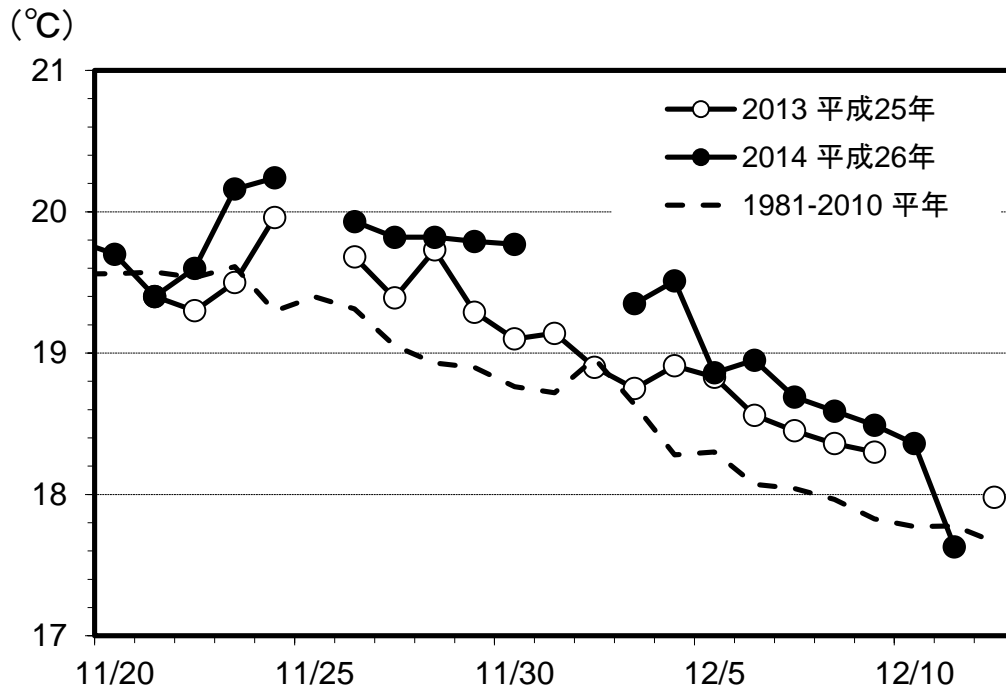
図は川尻北西方の観測線 (川尻 NW 線) の水温断面図 (左) と水温偏差断面図 (右) を示しています。水温偏差は 30 年平均値に対する高低を表しており、平均値より低い領域を網かけしています。

今月の水温分布は、上層から海底付近まで、ほぼ一様になっているのが特徴です。断面では 18～19℃台の占める領域が広く、Sta. 2, 3 (川尻岬から 5～10 マイル沖の測点) では 19℃以上を示し、周辺よりもやや高めになっています。

水温偏差断面図 (左) によると、沿岸と沖合で平年より低め傾向 (網かけ) になっていますが、その他の領域は 0～1℃高めになっており、断面全体で見ると、平年より高めの領域がやや広がっています。

【萩-見島フェリー一観測の表層水温】

萩沖の表層水温は、11月下旬以降、平年値よりもやや高めの状態が続いていましたが、12月11日は17.6℃で、平年より0.2℃低めになりました。



【他県の情報】

長崎県 — 11/27~12/3 の漁模様—

<中小型まき網> 時化のため出漁日数少ない。

西彼地区：マサバなどを1日1統当り20トンの水揚げで、前週の77%（前年を上回る）。

北松南部地区：マサバなどを1日1統当り12トンの水揚げで、前週の4倍（前年を上回る）。

<イカ釣り>

対馬東岸地区：ケンサキイカを1日1統当り27kgの水揚げで、前週並み（前年を下回る）。

壱岐勝本地区：ケンサキイカを1日当り368kgの水揚げで、前週の79%（前年を上回る）。

* 長崎県漁海況週報第2870号から抜粋